

表彰会社の評価ポイント

1. ディスクロージャー表彰

(1) 協和発酵キリン株式会社 (4151)

- ◆決算短信では、経営成績、次期見通し、財政状態に関する分析、事業等のリスクの記載が充実している。当期実績の費用項目も詳細に説明されており、また、財務状態の記載についても安定度が明確に説明されている。
- ◆サステナビリティレポートでは、環境への取組みがわかりやすく図で説明されており、株主報告書では、新薬の開発状況を開示するなど多面的な情報提供を行っている。自社ホームページでは、「投資家ツールキット」として、決算短信、アニュアルレポート、株主向け報告書を一度にダウンロードできるようにしており、投資家の視点に立った工夫がなされている。決算説明会の音声配信、過去5期分の財務データをグラフで提供している。

(2) 株式会社小松製作所 (6301)

- ◆決算短信のセグメント別経営成績について、地域別（国内外）に分けて説明するなど分かりやすい記載となっている。
- ◆アニュアルレポートとCSR報告書は日本語、英語の両方があり、特にアニュアルレポートについては海外各地のトップとのインタビューが掲載されており、現地展開の様子が伝わってくる。自社ホームページでは、財務ハイライトが非常に詳細に開示されており、社長インタビューや決算説明会の質疑応答資料や補足資料が掲載されている。英語サイトでは、子供向け英語サイトも開設しており、幅広い世代、地域に多面的な情報提供を行っている。

(3) 富士電機ホールディングス株式会社 (6504)

- ◆決算短信については、セグメント別売上高、財務状態に関する分析において前年度比較にグラフを使用するなど分かりやすい記載となっている。また、次期見通しについても詳細に説明している。
- ◆CSR報告書については、会社のアピールポイントをうまくPRしておりトピックの選び方も読み手の関心を引く構成となっているなど、全般的に説明力が高い。自社ホームページでは個人投資家向けサイトを開設し、過去5期分の財務データ、決算説明会の音声配信や株主総会の動画配信の掲載など機関投資家、個人投資家、ステークホルダー全てにきめ細やかで積極的な開示を実施している。また、ホームページ全体の構成がシンプルで使いやすい。

(4) TDK株式会社 (6762)

- ◆決算短信の経営成績におけるセグメント別の記載内容が充実しており、次期の見通しについても詳細に記載されている。また、財務状態に関する分析の記載も充実している。
- ◆英文のアニュアルレポート記載が充実している。また、自社ホームページでは、決算説明会の状況等が動画と資料で視聴可能であり、海外でのミーティングも含めて各種ミーティングの状況が開示されており、ホームページが充実したIRライブラリー機能を果たしている。個人投資家向けサイトを開設し、過去5期分の財務データ、株主総会の動画が掲載されている。また、全体的に見易く、各情報ページが分かりやすく操作性に優れている。

(5) 本田技研工業株式会社 (7267)

- ◆決算短信では、セグメント情報の記載や利益配分に関する方針、事業等のリスクの説明が詳細に記載されている。次期の見通しについては、前提条件を説明し開示している点が評価できる。
- ◆環境報告書とCSRレポートを分けて作成しており、株主通信については、四半期ごとに詳細な資料を株主に送っており、株主への説明に対する意識の高さがうかがえる。自社ホームページでは、「ファクトシート」という四半期ごとに作成されている企業の現況が一目で分かる資料の掲載や、他の閲覧者が見たページを参照ページとしてページ下に表示させるなど全体的な構成に工夫が見られる。過去5期分の財務データや、平成12年度分から決算説明会の音声配信が掲載されている。

(6) 株式会社商船三井 (9104)

- ◆決算短信におけるセグメント別の経営成績の分析が詳しく説明されており、投資家が考慮すべき業界特有の事情を反映した詳細なものとなっている。また、投資家のニーズに的確に対応した情報開示で各種のディスクロージャー資料の内容が充実し、読み応えがある。
- ◆環境・社会報告書、アニュアルレポートの記載内容が充実している。HPには1994年からの財務データがグラフで掲載されており、また、マーケットに関するデータや株価の推移を視覚的に見ることができ、決算短信、決算説明会のページも使い易いなど、投資家を意識した作りとなっている。

(7) 全日本空輸株式会社 (9202)

- ◆決算短信の経営成績においてセグメント別の記載が詳細であり、当期の概況説明が分かり易く、次期の見通しについても記載が充実している。また、事業等のリスクに関する記載内容が充実している。
- ◆アニュアルレポートでは、財務諸表の記載が充実しており、株主向け資料である「ANA VISION」も内容が纏まっている。全般的にレイアウトや色合いなども読み手の関心を引く工夫がなされ、法定開示資料以外の資料に力を入れている点がうかがえる。自社ホームページでは、株主へ向けてアンケートの募集やお問合せ内容の定期的な開示など、株主との対話促進への意識が高い。また、決算説明会および株主総会の動画配信、決算説明会の解説資料が掲載されている。

2. ディスクロージャー新人賞

(1) 大幸薬品株式会社 (4574)

- ◆決算短信では、次期見通しや事業等のリスク、対処すべき課題について非常に詳しく説明されている。
- ◆株主通信では、会社のアピールポイントが明確に説明されており、今後の目標についての記載内容も充実している。自社ホームページでは、英語サイトだけではなく、中国語サイトも開設している。ホームページの製品紹介ページについては、カテゴリー分けされており分かりやすく、問合せ対応も充実している。

(2) 株式会社アクセル (6730)

- ◆決算短信では、生産実績や受注実績・販売実績データがセグメント別に開示されており、全般的に独自に工夫した構成で事業戦略や業績をわかり易く説明している。翌年度の見通しや配当方針が明確である。
- ◆事業報告書では、記載内容が分かりやすく纏められており、会社の開示に対する真摯な姿勢が伝わってくる。自社ホームページでは、個人投資家向けサイトを開設し、過去5期分の財務データ、決算説明会動画情報の提供など情報開示が充実している。

3. 企業行動表彰

表彰対象：「株主総会議案の議決結果の公表」を先駆的に実施し、他の上場会社の企業行動に影響を与え、新たな流れを作った企業行動を表彰対象とした。

表彰会社：(1) 株式会社資生堂 (4911)

(2) マブチモーター株式会社 (6592)

(3) ソニー株式会社 (6758)

(4) 株式会社角川グループホールディングス (9477)

- ◆上記の会社は平成20年度以前から公表しているが、その理由を確認したところ、各社とも独自に検討した結果としており、公表内容からもそれが窺えるため、「先駆的」な企業行動であると認められる点を評価した。
- ◆平成21年度に公表した会社数が平成20年度と比較して大幅に増加しており、その理由として既に複数社が公表していたことが大きな要因であると思われることから、平成20年度以前から公表していた上記の会社が「新たな流れを作った」と認められる点を評価した。